

わくわく建設券・・・平野市議が利用促進と改善を提言

補助金額の 22 倍の経済効果！

わくわく建設券事業の活用状況

(9月3日現在)

- ◇登録業者数・・・・・・・・・・157 業者
- ◇建設券購入申し込み・・364 件、6,417 枚、
3 億 5,293 万 5 千円
- ◇市補助金執行額・・・・・・3,208 万 5 千円
(予算 1 億円のうち 32%)
- ◇総工事高・・・・・・・・・・7 億 1,697 万 3,795 円
(補助金の 22.3 倍)

9月11日、市議会の一般質問が行われ、平野市議は次の4点について質問しました。

- ① わくわく建設券について
- ② 国民健康保険について
- ③ 公契約条例について
- ④ 茶寿苑問題と
法人監査について

今号では、わくわく建設券と茶寿苑問題について報告します。

利用した多くの業者や市民に喜ばれています。
この制度のおかげで、実際に仕事が増えています。

しかし、登録業者（157）は少なすぎます。

そのため、次のように、提言しました。

指名業者でなくても、商工会議所会員でなくても、登録すれば、この事業に参加できることを、もっとPRすべきです。

建設券の購入は なぜ毎月1日だけ？

多くの業者から「手続きが煩雑」という声とともに、「建設券の購入はなぜ毎月1日だけなの？」という苦情が寄せられました。

改善を求めた平野市議に、市は「検討する」と答弁しました。

平野市議は、市民や業者の声にもとづいて改善を求めました。

ある市民から「チラシの裏に書かれている業者から選ばないといけないのか」という声が寄せられました。そんなことはありません。市内業者であればどの業者でも登録できます。

しかし登録業者が少なすぎます。指名業者でなくても、商工会議所の会員でなくても登録できます。このことをもっと徹底し、この制度の恩恵が広く市内業者に行き渡るようPRを強く求めました。

日本共産党別府市議団

げんきニュース

市議会議員 平野文活 えんど久子

2013年9月12日

NO, 571

茶寿苑・・・異常な実態

・・・平野市議、監査・指導の強化を求める・・・

【平野】虐待の実態は？

【答弁】今年4月、職員からの内部告発が大分県に寄せられ、5月に県と市が合同調査しました。その結果、心理的虐待7件、身体的虐待1件、性的虐待1件、介護放棄・放任1件の計10件が、関係者の証言等により判明しました。

【平野】不正経理の実態は？

【答弁】平成21年4月から25年6月まで（4年3ヶ月間）、職員配置が介護報酬を加算される基準には達してなかったにもかかわらず、虚偽の報告をして、1,500万円の加算金を不正に受け取っていました。

平野市議の質問のなかで、次のことも明らかになりました。

- ◆ 虐待をした女性職員を処分しないまま、介護職から他の部署に異動したが、給与規定にない手当を支給し厚遇していた。
- ◆ 理事会にかけずに理事長の給料を引き上げていた。
- ◆ 会計責任者と出納職員を理事長が兼任していた。
- ◆ 理事長専決金額を超える工事契約を、理事会の議決を経ずに理事長が単独で決済していた。
- ◆ その一方で、批判的な職員には、不当な減給・降格・昇給停止などをしていった。
- ◆ 毎年を義務づけられていたレジオネラ菌の検査を9年以上していなかった。
- ◆ 入所者や家族に不適切な事務代行費を請求していた。など。

【平野】茶寿苑に対する処分は？

【答弁】9/6付で次の処分を行いました。
◇不正請求分など2,000万円を返還請求。
◇介護報酬を6ヶ月3割カット
(10月～来年3月まで)

【平野】これまでなぜ見抜けなかったか？

【答弁】これまでは書類監査だけだった小規模多機能型居宅介護施設すべてに対して今後は立ち入りも調査をする。

【平野】監査結果は公開するよう求める。

【平野】県から権限移譲された監査対象は？

【答弁】保育所、児童養護施設、各種老人ホーム、障害者支援施設など、34の法人監査が移譲されました。一般監査は2年に1回ですが、毎年1回、現況報告書を提出するようになっています。提出書類のうち、貸借対照表、賃金、事業活動収支決算書は、別府市公式ホームページで公開します。